

今日はイタリアンシェフを招いての初の試み！準備から本番までをお二人にうかがいました

『第6回 管理栄養士の気まぐれレストラン』スペシャル対談



医療法人みなとみらい
管理栄養士・日本糖尿病療養指導士
佐藤 奈津 × 太田 裕二 イタリアンシェフ

当院では、管理栄養士による体験型の料理教室を開催しています。第6回目となる今回は、イタリアンシェフの太田裕二さんをお招きして「家庭でも作れる本格イタリアン」をデモンストレーションしていただきました。今回のテーマはトマトとオリーブオイル。近頃テレビで、トマトジュースにオリーブオイルを入れて飲むと血糖値が下がると話題になっているとか。この2つの食材はイタリアンでは欠かせないです。でも、パスタやピッツアは糖質が多くエネルギーが高いイメージではないでしょうか。今回はシェフにご協力いただき、美味しくてヘルシーなイタリアンレシピを「気まぐれレストラン」風にアレンジしていただきました。

メニュー決定から当日の様子までをお二人に語っていただきます。

メニュー決定の段階からシェフと相談デザートはやむなく断念することに

佐藤・クリニックの料理教室ということで、エネルギーや塩分を考慮した家庭でも作れるメニューをシェフに相談させていただきました。

太田シェフ・それなら手打ちパスタとトマトとオレンジを使った魚料理がメインのシチリア料理がいいんじやないかと。

佐藤・トマトとオリーブオイルは、LDLコレステロールを下げる働きもあります。あとは少量でもデザートがあると皆さん喜ばれるのがかつけたいと思ったのですが。

太田シェフ・それで、リコッタチーズを使ったフローズンデザートを提案したのですが、メニューに取り入れるのは難しかったみたいですね。

佐藤・そうなんです。高エネルギーの食材を省いて容量を少なくしたのですが400kcal以上になってしまって…断念しました。

太田シェフ・そこでイタリアの代表料理「ナスのカボナータ」をメニューに加えることにしたんです。

佐藤・はい。カボナータは常備菜にもなるし、今日のメニューの中でも一番手軽に作れるので、大正解でした！



↑↑ 太田裕二シェフの詳しいお店情報はこちら



《次回の料理教室》

詳細が決まり次第、院内掲示板やホームページでお知らせします。皆さまのご参加をお待ちしております！

**調理法を変えてカロリーダウン
油と塩分を抑えても美味しく**

佐藤・今日はクリニック様にアレンジしていただき有難うございました。

太田シェフ・カボナータのナスは素揚げするトロットと柔らかく仕上がるんですが、今回は油を減らすために蒸し焼きにしました。あとは、パスタの仕上げにからみを使うところを塩分が多くなるので省きました。

佐藤・油は大さじ1杯で120kcalもあるので、揚げるのと焼くのではエネルギーが変わってくるんですね。今回はパスタの分量もお店で提供するより少なくしましたが、皆さん満足されていましたね。

太田シェフ・イタリアンはとにかくオリーブオイルを使うんです。こんなに！つてびっくりするくらい使います。

佐藤・そうなんですね。

太田シェフ・手打ちパスタは、ご家庭で簡単に作れます。今回はセモリナ粉を使いましたが、薄力粉でも丈夫。ただし、生地をよく寝かせる

ことが大切です。

あと、今回プロッ

が、茹で汁はソースとパスタを馴染ませるときに使えるので、最後まで

とつておくよ。

佐藤・白ワインはソースなどにはあまり使わないんですか？

太田シェフ・イタリアではワインは飲むもので、料理には使いません。

あさりのパスタもワインは使わずに水と塩だけですよ。

佐藤・意外です。香辛料もあまり使わないし、イタリアンは素材の味を生かしたシンプルな味付けなんですね。

太田シェフ・そうなんです。

佐藤・あとレシピだけではなく、ブロの盛り付けも参考になりました。

太田シェフ・メイン料理の「デモンストレーション」、大歓声でしたよ。

太田シェフ・嬉しいですね。どのメニューも簡単に作れるので、ぜひご家庭で試していただきたいです。

佐藤・今回は初の試みだったので、シェフのおかげで大好評でした。

ありがとうございました!!

料理教室の様子 太田シェフによる本格イタリアンクッキングレッスン！



今回のメニューは
「シチリア風マカジキのインボルティーノ」
「シチリア風茄子のカボナータ」
「ブーリア風オレキエッテ」
レシピは各クリニックに置いています。
ぜひご自宅で作ってみてください♪



buono!!
(イタリア語で「おいしい」の意)

